

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 市長の公約である「イレブン・プラス・ワン」と市民の認知度について	1. 『スタートから4年目となる総合計画の着実な推進を基本に据えつつ、人口減少時代を乗り切るたきかわ創生のための新たな「11+1（イレブン・プラス・ワン）」を掲げ、実行に移してまいります』と述べています。イレブン・プラス・ワンと言うが、新旧ともに広報たきかわにも掲載されず、インターネットの検索でもヒットしない。ほとんどの市民が知らないのでは市政執行方針で述べても理解しにくい。市民にわかるようにすべき。		
2. 地方創生をめざす「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」策定	1. 短い策定期間と十分な議論や意見聴取について	1. まち・ひと・しごと創生法は、目的として、「我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかける」ことを最重点に、「地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出」を一体的に推進すると述べている。ところが、5年間の計画を策定するのに、あと4か月しかない。これで、市政執行方針の『長期的な人口の見通しを立てる「地方人口ビジョン」と、人口減少に歯止めをかけるための取り組みや成果目標等を盛り込む「地方版総合戦略」を策定』し、『直接市民等と対話するタウンミーティングの開催等により、各種団体や若者・女性・高齢者など幅広い年代や各地域の市民の皆様のご意見を伺う』ことは、あまりにも時間が無く、形式的な手続きに終わるのではないかと。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
	2. まち・ひと・しごと創生法の目的と男女共同参画目標に対する「まち・ひと・しごと創生会議」の女性人数との乖離等について	1. 「地方人口ビジョンと地方版総合戦略策定を本年10月末（目標時期）までに行う」としています。策定組織のメンバーは『「産学官金労言」とされる幅広い分野の方々と構成』としているが、総務省の手引きの「住民・産学官学金労言の参画」の丸写しで、国の言う通りに進めているように見えなくもない。問題なのは、大事な計画に、①住民関係団体代表を入れていないこと ②「住民」としてPTA関係者1名を入れているだけであること ③重要な計画づくりで委員の公募をしないことです。理由について伺います。		
		2. 創生法の最大の目的が「我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかける」ことであり、目標の3つの中に「①5年間で地方での若者雇用30万人分創出などにより地方における安定的な雇用を創出する ②若い世代の経済的安定や働き方改革、結婚・妊娠・出産・子育てについての切れ目のない支援などにより、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が含まれている。しかし、①女性が1名では、結婚から子育てまでの実態を反映させるのに不十分すぎるのではないかと。 ②男女共同参画推進計画では、各種審議会委員の女性比率が現状で28.1%、8年後に35%を目指していることから、委員16名中、4人～5人は女性とすべき。今からでも保育所の保護者会や幼稚園保護者会にお願いしたり、子育て中の女性限定で公募したり、委員の交替をお願いするなどで女性委員増を図るべき。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
	3. 計画の検証が重要な地域総合戦略策定における滝川の若い世代の非正規雇用と賃金実態調査について	1. 政府は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の「アクションプラン」（工程表）で、「2020年までにフリーター数を124万人に減少させる（2013年182万人）。若い世代の正規雇用労働者等を全世代と同水準を目指す（2013年 15歳から34歳の割合 92.2%、全ての世代の割合 93.4%）」などとしている。歓迎すべき目標です。そこで、①滝川市の15歳から34歳の正規雇用労働者率は。②「滝川市労働事情実態調査」では、若年者や子育て世代の雇用実態はほとんど調査されていない。戦略を立てる際に、15歳から34歳の詳しい調査が必須ではないか。 ※（参考）人口、男女比に加え、 ①正規・非正規（常勤・パート・季節労働・いわゆるフリーターやアルバイト）などの人数 ②失業者・無職者（ニートを含む）の人数 ③自営業や家族経営の人数 ④上記①～③の収入 ⑤子育て中の①～④の実態など		
	4. 有配偶者率が正規雇用か非正規雇用かで倍以上違う実態について	1. 政府の『まち・ひと・しごと創生長期ビジョンー国民の「認識の共有」と「未来への選択」を目指してー』では、『安定的な「経済的基盤の確保」が必要となる』として、正社員と非正規社員の有配偶者率の比較を示し、20代後半で約32%と13%、30代前半で約58%と23%と、『正社員の半分以下にとどまっている』としています。これほど今後の人口推移に密接な問題はないが、どのように滝川市の実態を数値として把握していくのか。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	5. まち・ひと・しごと創生法の目標及び基本理念と子育て費用の把握について	1. 法は基本理念で「結婚・出産・育児について希望を持てる社会が形成されるよう環境を整備」するとしている。しかし、希望を持てる社会にするために市政が果たす役割は本当に大きい。そこで、計画を立てるために、子育て費用について実態を数値として把握することは必須と考える。「滝川市こどもプラン」の「子ども・家庭・地域を取り巻く状況」の把握は、国と道の資料の引用だった。出産・育児・保育・教育（幼児～大学等）などの保護者負担については、市内の実態調査をして、今後検証できるようにするとともに、市民が滝川市の実態を認識できるようにすべき。 ※参考 ①出産～家庭内育児での負担額 ②18歳までの子ども医療費の保護者負担額 ③保育所・幼稚園の保護者負担額 ④小・中学校の保護者負担額 ⑤高校の保護者負担額 ⑥大学等の保護者負担額 ⑦その他、塾・習い事での負担額		
	6. 若年者と親にとって厳しすぎる大学等費用と奨学金制度の市独自改善について	1. 「まち・ひと・しごと創生総合戦略における総務省の主な施策（参考資料）2015年1月」には、「地元学生定着促進プラン（奨学金の活用）」が示され、「卒業後の進路として地方を選択する大学生等の増加を図るため、自治体と地元産業界が協力し、学生の奨学金返還を支援するための基金を造成」した場合に、「総務省は、基金造成に対して特別交付税措置」するとしている。支援は貸与と無利子とされている。「奨学金を借りなければ進学できないし、卒業と同時に数百万円の有利子負債が残る」厳しすぎる現状を踏まえるなら、①市独自の無利子奨学金の復活 ②給付制の奨学金制度の創設を検討すべき。		

質問順位	5	質問者	清水雅人議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
	7. 中山間地域等において生活に必要な各種の機能・サービスや周辺集落との交通ネットワークの適切な維持・確保について	1. 総合戦略アクションプランでは、『過疎集落等を対象に、継続的な集落の維持活性化のため、基幹集落を中心として複数の集落で構成される集落ネットワーク圏において、「集約」と「ネットワーク化」を図りながら、生活の営み（日常生活支援機能）を確保するとともに、生産の営み（地域産業）を振興する取組をモデル的に支援する』としている。有利な交付金の対象になれば「定住支援・地域の足確保・見守りサービス・小さなビジネスの展開（特産品開発等）」が可能になる。江部乙・東滝川地域は、この対象にできるのか伺います。		
	8. 滝川市人口ビジョン策定について	1. 滝川市は、昨年5月に日本創成会議が発表した「消滅可能性都市」（少子化と人口減少が止まらず、存続が危ぶまれる896市区町村、全国の49.8%の一つ）とされた。これは2010年からの30年間で、20から39歳の女性の人口が5割以上減少することが指標です。滝川市も人口移動が収束した場合4,575人から2,212人（-51.7%）で総人口は28,176人に、また、収束しない場合1,828人（-60%）で総人口は25,795人になるというものです。全国に衝撃は与えましたが、市民は実感として受け止めたと考えます。市としてその後、人口問題をどのように検討してきたか。		
	9. まち・ひと・しごと創生法による地方への財政支出の増減について	1. 「平成28年度以降は、補助金、地方財政措置に加え、必要な財源を確保しつつ、新型交付金（後述）を創設し地方の取組を支援していく」などとしているが、規模もわからない。どのように把握しているか。このままでは、自公政権の「地方創生」「人口減に歯止めをかける」宣伝と計画づくりがほとんどではないのか。計画前後で、国から地方への財政支出を含め、地方の財政力がどうなるのか。増えなければ問題ではないのか。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	10. まち・ひと・しごと創生法と 地方版総合戦略による、地方創 生の可能性について	1. 「希望をかなえる」ためには、少子高齢化の原因の一つとなった 低賃金政策である20年間に急速に進められた非正規労働化政策を 元に戻すことが必要です。また、地方衰退の原因になったのは輸入 自由化など第一次産業衰退政策です。にもかかわらず、国はこれ を変えずに、労働者派遣法のさらなる改悪とＴＰＰ推進です。地方財 政計画も悪化の一途です。政府の地方創生は、国民をあざむくもの と考えます。「今、滝川市は非常に大切な時期を迎えており、この まちの将来を左右する重要な４年間になると感じている」のであれ ば、真に人口減少に歯止めをかけるために、国の政策を一貫性・論 理性があるものに変えるよう、首長として声をあげるべき。		
3. 元気な産業と活力あ るまちづくり	1. 持続可能な農業のための生産 基盤・体制の確立について	1. 米価暴落、米の直接払い交付金減額など、離農者増加と経営環境 悪化が危惧される中で、地方創生のカギを握る基幹産業への市政の 役割強化は待ったなしです。そこで、新規就農者への国の制度改善 対策を緊急に求めます。 ※（参考）①青年就農給付金制度は、経営同一の後継者は該当しま せん。そのため水田・畑作・酪農など市内の後継者の実績はゼロで あり、効果を発揮していません。②親元就農でも、就農後５年以内 に経営移譲するなど要件を緩和して、希望する青年の多くを対象者 にできるよう国に求めること。		
	2. 滝川農業塾について	1. 「滝川農業塾については、第３期生３名と新たに第４期生４名を 迎えて事業を継続するとともに、生産技術や経営管理技術の習得な ど研修メニューの充実を図り、将来、滝川市の農業を担う、優れた 農業後継者の育成・確保に努めます」としている。大変好評な制度 であり、充実を求めます。具体的には、①「市内在住で、農業経験 がおおむね５年未満の後継者等」をはずし、制度開始前の後継者が 参加できるようにすること。 ②農業機械免許や座学などを中心と した冬期間コースを検討すること。		

質問順位	5	質問者	清水雅人 議員	
件名	項目	要 旨		メモ
	3. TPP反対について	1. TPP交渉からの撤退・参加反対を貫くこと。 ①農業はもとより、経済・医療・雇用などへの影響についての講演会を開催すること。 ②広報たきかわで特集し、問題点を広く市民に知らせること。		
4. 力強い産業の育成・雇用の確保	1. 公契約条例の検討について	1. 市政執行方針で「力強い産業の育成・雇用の確保」と謳いながら、具体的な雇用施策がない。企業の利益と地方の賃金が連動しないことが、アベノミクスの課題です。市政でも独自の雇用政策が必要です。そこで、市の発注する事業で、積算された人件費に見合う適正な賃金を支払われることは当然です。しかし、これまで調査が行われたことはありません。日本共産党の調査の結果、市の発注事業で働く労働者の賃金に関して問題があります。そこで、賃金の実態調査を行い、積算単価とかい離が大きい事例があれば、札幌市で大きな議論になっている「公契約条例」検討すること。 【事例1】一般廃棄物収集運搬委託業務2億2,684万円。積算人件費71%、車両・保険・諸経費29%。1年を通して月曜日から土曜日までの業務で、3社合計で車両15台に33人が従事しています。平均年収は、発注金額では408万円になります。平均賃金の調査が必要です。 【事例2】滝川環境維持管理協同組合に市道除排雪委託3億3,685万円を発注しており、労務費単価はタイヤショベル運転手1万6,600円、普通作業員1万3,800円、交通誘導警備員A1万600円等です。 【事例3】公共事業の労務単価が2013年度に2度にわたりアップしましたが、建設労働者の賃金が、国の単価より10～20%も下回っている実態が判明しました。道は二次下請けまで調査を広げ、対象企業に是正を求めています。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
5. 機能的な生活基盤の 充実したまちづくり	1. コンパクトで機能的な都市の 形成について	1. 「機能的な生活基盤の充実したまちづくり」として、泉町土地区画整理事業や市道の整備、都市公園の整備を上げています。しかし、緊急性が高いのは、コンパクトタウン江部乙・東滝川地区の機能性維持確保対策です。しかし以下について市民への説明が必要です。 ①これまでコンパクトタウンとして維持すべき機能、不足している機能を具体的に示すこと。		
		2. 泉町土地区画整理事業について、総事業費は、4億3,500万円へと増えている。一部着工されているが、沿道に建物が建てられる可能性は低く、北電柱やNTT柱も立たないことが予想されます。その場合、設置費がかさむので、地元町内会では設置できないことが想定されます。街路灯のない道路、暗い人気のない道路になる可能性は無いのか。また、その場合の市の建設・維持の負担は総事業費に含まれているのか。また、その金額は。		
	2. 賑わいのある中心市街地の活 性化について	1. 空き店舗等の改修工事に要する経費の一部を補助する「滝川市店舗リノベーション支援事業補助金」を創設し、空き店舗対策に取り組みますとしています。従来の店舗リフレッシュ補助制度に加えるものであり歓迎します。財源や補助率、規模、対象工事などについて制度設計の到達点を伺います。		

質問順位	5	質問者	清水雅人議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
	3. 住宅ストックの適正管理について	1. 「適正管理」としてありますが、浴室無し住宅の解消まで10年以上かかるなど重大な問題を抱えています。また、維持管理でも課題解決が先送りになっています。3階建て以上の市営住宅の管理人制度について、病弱・高齢等で業務が無理なのに管理人委託されている例が少なくありません。団地や地域単位に業務を一元化し、市職員が直接担当することを繰り返し提案してきました。必要性が高まっているのではないかと。		
6. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり	1. 地域福祉・自立支援の充実について	1. 「社会福祉法人北海道療育園が着手する重症心身障がい児者通園ホーム『たんぽぽの家』の新設事業に対し支援を行います」としており、歓迎します。数十年来の要望であるデイサービスに続き、重症心身障がい児者ショートステイ実現に近づく計画なのか伺います。		
		2. 「高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を過ごすことができるよう総合的な保健福祉施策を実施します」としています。高齢者の住まいについては、国民年金では入れない施設が急増しており、特別養護老人ホームや老人保健施設、「特定施設入居者生活介護」付のケアハウス等の建設など、低所得者でも入居・入所できる施設の増床が強く求められています。必要性和緊急性についてどう考えるか。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		3. 「地域福祉・自立支援の充実」としてありますが、障がい福祉については、たんぼぼの家新設事業にしか触れられていません。しかし、障がい者手帳保持者は約3,000人です。市としてできる雇用対策のさらなる強化が求められます。①市の障がい者採用枠として、まず嘱託職員枠、次に正職員採用枠を設ける検討を進めること。②同時に、短時間なら就労できるという障がい者のため、短時間就労枠を設けること。③民間で障がい者雇用率を一定以上超えて、新規に雇用する事業所に対し、補助制度の創設を検討すること。		
		4. 障がい者も高齢者にも優しいまちづくりが求められます。 ①各種公共施設で、障がい者や高齢者への割引を一部でも復活させること。②たきかわホールトイレの洋式化を急ぐこと。③免許更新講習会場として、新町地域ふれあいセンター体育館の活用を検討すること。駐車場は文化センターなどを活用すれば問題ありません。④上下水道料金・ゴミ袋代などの福祉減免は、70歳以上の単身者と片親家庭に限られている。障がい者も対象にすること。		
		5. 共同作業所への支援を引き続き強化することが求められます。作業の受注は増えているが、工賃が安すぎるのではないか。福祉の工賃は、就労支援事業所として金額増を求めるが、一方で市場価格も存在する。市の責務は何か。		

質問順位	5	質問者	清水雅人 議員	
件名	項目	要旨	メ	モ
	2. 市立病院の充実について	1. 市政執行方針では、市立病院については、最も深刻な医師確保について触れられていません。二次医療圏と中核病院である深川市立病院の小児科医師上げと、出産ができなくなったことは衝撃を与えました。整形外科医も常勤ではないとのこと。同じ函館本線沿いの地域中心市の医師不足による困難は他人ごとではありません。4万人を超える人口の医療を守るためには、産婦人科の砂川市立病院への統合以上の医師削減は避けなければなりません。どのような対策が必要か。		
	3. 市内の共同浴場、銭湯への支援について	1. 6月上旬、市内の銭湯が廃業することがわかりました。「誰もが住みよい安全安心なまちづくり」にとって重大な影響が考えられます。経営が燃料高騰、利用者減少などで苦しくなっています。閉鎖は絶対に防がなければなりません。このような中で、「9月末で営業終了します」という貼り紙で、ある銭湯が利用者に告知しました。生活への影響は多大です。同経営者と緊急に懇談するとともに、対策を求めます。①同銭湯からの相談について ②影響を受ける市民について ③円安、利用客減少が進めば、これを引き金にした市外転出もあり得る。まち・ひと・しごと創生の観点からも、これまでと同じ「道の補助金の範囲」との対応では済まないのではないか。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
	4. 交通安全について	1. 今月6日夜、砂川市の国道交差点で乗用車と軽ワゴン車が衝突するなどし、一家5人が死傷するなど、飲酒運転による重大事故が発生した。生存者の方の一日も早いご回復と、亡くなられたご家族に心からご冥福をお祈り申し上げます。今回の事故では、滝川の飲食店に行く途中の飲酒運転の疑いが強い事故であると報じられています。①飲酒運転の取り締まりが弱いのではないのかとの声が市民から出ています。市として道警とどのような連携をしているのか。②滝川市として、関係機関と協力して、アルコール中毒者や予備軍の方に対する相談窓口を設けるとともに、治療時にも支援する体制作りを求めます。③飲食店の中には、飲酒運転の常習者に飲ませないという毅然とした態度をとらない、とれない実態があるのではないのか。いわゆる「暴力団関係者」「テキヤ」などに対しては、報復を恐れて、毅然とした対応ができないとの話も聞きます。これについても相談窓口を設置すべきではないのか。		
7. 市民が活躍するまちづくり	1. 市民が生きがいを持って活躍する地域づくりについて	1. パークゴルフ場については、市民の具体的な要望が寄せられています。①西公園、河川敷などボランティア管理のパークゴルフ場を存続し、整備予算を倍増すること。②新パークゴルフ場（2017年度オープン）では、多くの市民が利用できるようにすること。そのために、 ・市が一部を負担する乗り合いタクシーチケット ・市が200万円負担している中央バス滝川ふれ愛の里線の延長 ・市民に対する半額券の実施等を検討すること を求めます。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
8. 効率的な行政運営によるまちづくり	1. 財政健全化計画の策定と「財政補填のための基金繰り入れを必要としない財政運営を目指す」について	1. 冒頭の「施策の基本的な考え方」で「地方版総合戦略と財政健全化計画の策定を同時期に行い、車の両輪として推進しながら持続可能な市政運営の基盤を築きます」としています。一方、昨年の中期財政フレーム（10年間の一般会計試算）では、3年後に基金がゼロになるという厳しい見通しを示しました。原因は、今後5か年は平均5億4,600万円の赤字が続くことです。その内訳は、①支出では、消費税増税（約7,000万円）・電気料金値上げ（約7,000万円）・土地開発公社の借金返済（約9,000万円・10年間）など ②収入では、市税や地方交付税合わせて、今後10年間、毎年1億2,000万円ずつ減少すると見込んでいます。10年後に今より12億円減少するというものです。「財政補填のための基金繰り入れを必要としない財政運営を目指す」との表現は、「3年後に基金がゼロになる」、「今後5か年は平均5億4,600万円の赤字が続く」から、具体的にどの歳出歳入が変わるのか、可能な限り具体的に伺います。		
9. 教育行政執行方針	1. 重点政策1 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む教育について	1. 滝川西高については、「定員調整に合わせ、学科転換などを含めた時代の変化に応じた西高のあり方について検討します」としています。2018年度から1間口減となりますが、定員割れは、滝川工業（2間口に対し6名）、滝川西高（7間口に対し2名）などで、今後の中学校卒業生数の減が間口減の主要因で、学区内市町のバランスを考慮して学区内最大間口の滝川西高が対象になったと思われます。しかし、「子どもの貧困」、「奨学金問題」が進む中で、学区内9高校の教育環境充実が求められます。そこで、当面は、①市立の特色を生かし、滝川西高7学級を34～35人のクラスにして、結果として募集定員を40名減ずることの検討を求めます。その際、市独自の少人数クラスが制度として可能か、公立高校配置計画の1学級減との整合性がとれるかどうか伺います。②33年度に向け、23年度に募集停止された滝川工業土木科を学科内コースとして復活させる検討が必要ではないでしょうか。		

質 問 順 位	5	質 問 者	清 水 雅 人 議 員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
		2. 35人以下学級を小学5・6年、中学2・3年まで広げ、全面实施することを強く求めます。		
	2. 重点施策2 子どもの学びを支える教育環境の充実について	1. 『今年度で計画期間が終了する「滝川市小・中学校施設整備方針」については、新たな方針を策定し、「滝川市小・中学校適正配置計画」については、策定から5年が経過したことから、計画の見直しを行う』としています。文部科学省の新たな手引きは、これまでの手引き等と何が変わるのか。		
	3. 重点施策4 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かすについて	1. 多くの町内会で、通学の安全支援はもとより、盆踊り、焼肉パーティー、花火大会、パンづくり体験学習など、地域の子どもたちとの交流を深めています。しかし、近所のおじさん、おばさんに日常的に声をかけてもらえるところまでは到達していないと考えます。町内会活動にどのようなことが求められているのか伺います。		